

基本方針1	組織体制の強化
取り組むべき項目	業務の効率化 ・ 組織の適正化 ・ 職員能力の向上
第1回目 各委員からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICTを活用した業務の効率化をすすめるために、組織全体の意識を変え、取り組む姿勢を整えることが重要である。少しずつでも取り組みを実行していくべきである。</li> <li>・ すべての書類をペーパーレスにすることは不可能であるが、資料の棲み分けは可能である。</li> <li>・ 業務量を把握することが重要である。</li> <li>・ 部署が横断的に連携することが必要であり、プロジェクトチームなどの柔軟な組織運営をしていくことが必要である。</li> <li>・ 企業の管理方法として「5S」という概念に基づき、新庁舎建設も含め、ペーパーレスなども含め環境を整えることが必要である。</li> <li>・ 内部や外部を含め交流を図り、違う視点を取り入れることは重要である。</li> <li>・ 「働き方改革」に視点を取り入れてはどうか。</li> <li>・ 職員が高いモチベーションを持って、能力を最大限に発揮できる環境が必要である。</li> <li>・ より良い町民サービスを提供するためには、職員の意識醸成や能力の向上が重要である。</li> </ul>	

基本方針2	持続可能な財政の確立
取り組むべき項目	財政見通しの策定 ・ 事業の見直し ・ 財源の確保 ・ 施設の適正管理と統廃合による効果的な配置
第1回目 各委員からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員のやるべき業務が多い中、「金額の削減」だけが求められるのは矛盾がある。町はもっと現状を伝え、町民に理解を得る必要がある。</li> <li>・ 金額の削減は、分かりやすい指標にはなるが、削減に伴い町民サービスの低下になるという懸念も生じる。</li> <li>・ 業務のスリム化を図り、余力を新たに必要となる業務にあてることができるのが理想の姿である。</li> <li>・ 町財政は厳しい状況であるため、新庁舎を含む事業を進めるためには、町民の理解を得る必要である。また、職員が積極的に改善を提案し、努力している姿を見せることが重要である。</li> <li>・ 「収納の強化」は、外部(神奈川県等)が関わることで、事務が効率的になる可能性がある。</li> </ul>	

基本方針3	多様な主体との協働
取り組むべき項目	町民参画の仕組みづくり ・ 産・官・学の連携によるまちづくり ・ 情報発信・情報共有の充実強化
第1回目 各委員からの意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「町民との情報共有の推進(第4次行政改革の取り組み)」の成果指標が「町HPのアクセス数」となっているが、町民を対象にするのであれば、町外からのアクセス数も含むこの指標は適さないため見直すべきである。</li> <li>・ 近隣の大学だけではなく、都内の大学も視野にいれてはどうか。若い世代が、町に出入りするだけでも、町に活気がでてくる。</li> <li>・ 町の取り組みや職員を理解してもらうためには、広報紙を通じて情報を発信していくことも重要である。</li> </ul>	